



令和 6 年度

令和 6 年 12 月 24 日 発

## SSHだより

第 6 号

(4 期指定 3 年目)

## Tokyo サイエンスフェア

Tokyo サイエンスフェアは実技試験・筆記試験で日頃の学習成果を競い合う「科学の甲子園東京大会」と普段の研究成果をポスターで発表する「研究発表会」があります。

■科学の甲子園東京大会 11 月 3 日(日)【都立科学技術高校】

2 年生から物理・化学・生物・地学・情報・数学の代表者 6 名でチームを作り出場しました。大会前から放課後に居残り、筆記試験・実技試験対策を続け本番に挑みました。前半は各分野の筆記試験で、皆で協力して問題に向き合います。後半の実技試験は、決められた時間内に、決められた材料・道具を用いて競技目的の物を製作して他校と競い合います。

■研究発表会 11 月 17 日(日)【東京ビッグサイト】

今回は 2 年生の理数探究履修者の中から化学・生物・地学・数学分野を代表して 4 名の生徒がポスター発表をしました。途切れることなく来る他校の生徒・先生方に、研究内容を発表しました。自分の研究を発表する機会を得ることは、研究を進める原動力にもなります。また、これまでの研究内容をまとめ、見学者とディスカッションをすることで、次のステップに移行する良い機会にもなりました。



写真 1 科学の甲子園東京大会の様子

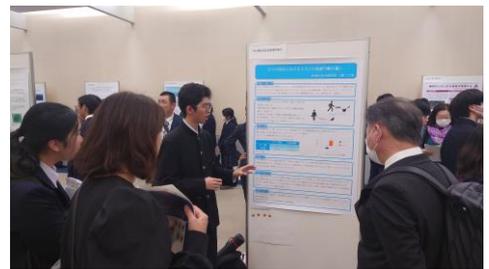


写真 2 研究発表会の様子

## SSH 東京都内合同発表会

12 月 15 日(日)工学院大学において、SSH 東京都内合同発表会が開催されました。この大会は東京都内で SSH 指定されている高校の生徒が日頃の研究成果を発表する場です。日比谷高校からは、理数探究履修者が口頭発表 4 件、ポスター発表 15 件の発表を行いました。一般見学も含め、日比谷高校からは約 50 名の生徒が参加しました。大人数の前での発表ということで、発表者は緊張したようでしたが、事前に準備をしっかりとし、質問にも冷静に答えていました。皆さんも来年度の発表会にぜひ参加してみてください。



写真 3 口頭発表の様子

## SSH 福島国内研修

令和 7 年 1 月 6 日(月), 7 日(火)に SSH 福島国内研修が実施されます。福島には解決しなければならない課題が山積しており、その解決方法を学ぶことができます。その方法を持続可能な社会を目指す現代社会に応用することを模索します。

現在は、事前学習を進めており、先日復興庁を訪問してお話を伺ってきました。多数の質問にも丁寧に答えて頂くことができました。また、帝京平成大学の小森先生には「3.12 災害の現在・過去・未来 - 浜通りで日本と世界を俯瞰する-」というテーマで講演をして頂きました。」



写真 4 復興庁訪問の様子



# 【SSH 委員会より】学芸大学の院生とセッション

「探究」とは一体何なのだろうか。それはある種の未知や不思議へのアプローチなのか、或いはその最中で待ち構える苦難なのだろうか。日々の生活の中で、「探究」はじっと、我々の傍に佇んでいる。というわけで、探究と学校の授業とのつながりについて、SSH 委員が学芸大学大学院の方々と議論した内容の一部を紹介する。

## I 授業と探究について

### ・探究ってなんだ？

授業と探究との関わりを考えていく上で、「探究」が何を指すのかハッキリさせておかねば議論も何もないというものだ。非常にぼんやりとした話だが、具体的な例を挙げてみれば、大学の研究者は間違いなく探究をしている。芸術の限界に挑む人々や、何かの図鑑を開く少年少女の心にも探究は宿りそうだ。そうした人たちというのは常に自身の知らない領域に目を向けながら、又その領域を切り開いていこうとしている。なにか答えを与えられていないものへの試行錯誤を我々は探究と呼ぶのではなかろうか。

### ・授業に探究ってあるの？

正直なところ、教科に依るとするのが実際。ただ、大学受験という閉じた範囲を見据えた授業自体が、開かれた世界に対する探究への意識を希薄にする気はする。もしも本気で探究の授業をしようとするなら、(特に理社なんかは)資料漁りの仕方の授業になるだろう。

探究を推し進めるための道具やその使い方を学んでいるイメージだ。ただ、そういったことを学ぶ中で思ってもみなかった視点の発見が時々あるとわくわくしてしまう。

授業として探究を扱えなくても、探究はそこにいます。

### ・大学受験に探究って関係ある？

たぶんあります。



### ①理探は難しい

「正解」を答えるだけでは成り立たないね。答えが探究には無いからだね。また一つの課題に対し、長期間時間を使うということがほとんどの人にとって初めてで、これらの要素が理探のハードルを上げているよ。

### ②理探を指導する教員の課題

当校では先生の専門内外に関わらず、多様なテーマで理探が行われているよ。生徒からは、担当教員から適当なアドバイスを得られないということも度々耳にするね。また、理探によって探究活動を嫌うようになる生徒がいると指摘する声もあるんだ。教員が通常の業務に加えて、どのように理探を学びある場にしていくのかはさらに工夫が必要だね。

日比谷高校が教養主義を謳うなら、生徒も教師も文理や専門とか関係無いよね。